

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年01月29日

計画の名称	谷山地区における災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和06年度（4年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鹿児島市													
計画の目標	谷山地区に位置する谷山駅周辺地区及び谷山第三地区は、基盤整備が進まないまま建物が密集し住宅地が形成された既成市街地で、近年では建物の老朽化も進んできており、防災上危険な状況となっている。 このような中、土地区画整理事業により基盤整備、街区の再編を行うことで狭隘道路や密集住宅を解消し、浸水対策として下水道（雨水管路）の整備を行い、安全な市街地の形成を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		12,007	A	12,007	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R4末	R6末
1	谷山第三地区における消防活動困難区域の面積を 14.3 ha（R3）から10.4ha（R6）に低減する。 有効幅員 6 m 以上の道路から 100 m 以上離れた区域を「消防活動困難区域」として面積を測定する。	14ha	14ha	10ha
2	谷山第三地区及び谷山駅周辺地区における防災街区面積の割合を 18.6 %（R3）から 36.2%（R6）に上昇させる。 有効幅員6m以上の道路に接する宅地を「防災街区」と考え、当該街区において使用収益開始する宅地面積の割合を算定する。 （＝使用収益開始した宅地面積/施行後宅地面積（鉄道用地、公園用地を除く））	19%	31%	36%
3	谷山第三地区における下水道（雨水管路）による都市浸水対策達成率を 3.5 %（R3）から 31.2%（R6）に上昇させる。 下水道（雨水管路）による都市浸水対策達成率 （＝浸水対策完了面積（ha）／事業計画区域の面積（ha））	4%	27%	31%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	－	－	谷山駅周辺地区土地区画 整理事業	都市再生区画整理 A=15.3ha	鹿児島市	■	■	■	■		1,450	1.4	未策定
	A13-002	市街地	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	－	－	谷山第三地区土地区画整 理事業	都市再生区画整理 A=34.9ha	鹿児島市	■	■	■	■		8,753	1.2	未策定
											小計						10,203		
下水道事業	A07-003	下水道	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	管渠（ 雨水）	新設	永田川排水区 水路新設	L=0.71km	鹿児島市	■	■	■	■		1,804		－
											小計						1,804		
											合計						12,007		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	1, 749	1, 042	1, 413		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1, 749	1, 042	1, 413		
前年度からの繰越額 (d)	0	741	308		
支払済額 (e)	1, 008	1, 475	1, 277		
翌年度繰越額 (f)	741	308	444		
うち未契約繰越額 (g)	362	133	198		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	20. 69	7. 45	11. 5		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	移転交渉等に不測の日数を要したため		国の補正予算成立に伴い、移転交渉等に不足の日数を要したため		

(参考図面) 市街地整備事業／下水道事業

